

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2018.5.25 No. 324 東京・羽村平和委員会発行



オーストラリア沖墜落のオスプレイ 気流の乱れで揚力喪失 米調査報告

米海兵隊は5月21日までに、昨年8月5日にオーストラリア沖で起きた米海兵隊普天間基地所属のMV-22オスプレイが米海軍佐世保基地配備の揚陸艦グリーン・ベイ着艦中、デッキに衝突・墜落し3人が死亡した事故に関する調査報告書を公表しました。

調査報告書によると、オスプレイが着艦のために揚陸艦に接近した際、機体から吹き下ろす風が揚陸艦に当たり、気流の乱れが発生。二つあるオスプレイのプロペラの片方に気流が流れ込んだためにバランスが崩れ、急降下したことが原因だと結論づけています。ダウン・ウオッシュです。報告書はまた、乗員の一部が緊急脱出に必要な訓練を受けておらず、救命具の操作に失敗していたことも明らかにしました。



米軍はオスプレイについて「機体に構造的問題はない」と安全性を強調

米軍事事故報告書を受け小野寺防衛大臣は、記者会見で「事故は機体の欠陥によるものではないと承知しているが、オスプレイを含む米軍機の飛行の安全確保は日本に駐留するうえでの大前提だ」とのべ、米軍に対し引き続き安全確保の徹底を求めて行く考えを示しました。

専門家「オスプレイの特性 認識不十分か」

NHKは、事故報告書を手に入れ、航空自衛隊の元空将で防衛省の航空事故調査委員長も務めた永岩俊道さんに、分析を依頼しました。岩永さんは、オスプレイが2つのプロペラで飛行するという特性に触れ、左右のプロペラに流れ込む気流に差ができたことによって、機体の安定を保つことが難しくなったという認識を示しました。その上で、「完熟の度合いが不十分だった可能性もなきにしもあらずだと思う」と述べて、オスプレイの特性が機体の安定に与える影響について米軍が十分に認識していなかった可能性があるという指摘をしました。自衛隊が今後、オスプレイを導入することを踏まえ、「類似の事案が起こらないよう」「この事故を細かく分析する必要がある」と延べ、日本も今回の事故を教訓とする必要があるとの考えを示しました。

19日(土)映画と講演のつどい約230人 20日(日)第110回座り込み約150人



地元の中止要請無視 米軍が車両投下訓練 沖縄・伊江島 (No. 324 裏面)

5月22日、沖縄・伊江村の伊江島補助飛行場で車両と兵士を降下する訓練が実施されました。伊江村は17日、沖縄防衛局からの事前通告を受けて、翌18日に訓練中止を要請していました。

しかし米軍は、村の中止要請がありながら訓練を強行しました。

村関係者によると、車両の投下訓練はこの10年は実施していないと言います。

降下訓練は午前10時半から11時半ごろにかけて実施されました。C-130と見られる航空機1機から、3回に分けて車両1台と兵士9人を降下させました。投下した車両はMRZRと思われます。MRZRは荒地でも走行できることから、「砂漠での部隊展開、つまり中東を想定した訓練ではないか。投下後はオスプレイで回収した可能性が高い。」と頼和太郎氏は分析しています。

頼氏によると、MRZRは2017年に沖縄県に配備され、米軍キャンプシュワブや沖縄県外の訓練場で使用されているということです。(ちょっと調べたらMRZRは特殊作戦用らしい。)

4月3日 伊江島で降下訓練中のパラシュートが提供施設区域外に落下

横田基地では、CV-22 オスプレイの飛来や配備の報道で右往左往していた4日、沖縄の伊江島補助飛行場ではパラシュート降下訓練をしていた兵士が提供施設区域外にパラシュートを落下させていたことが分かりました。落下地点は民家から約50メートルの農地でした。これまでも米兵や物資が目標地点からずれて民間地に落下する事故が何度も起きており、一歩間違えれば大惨事になる可能性もありました。



落下当時、米陸軍兵士8人が輸送機C-130で約3000メートル上空から降下する訓練をしていました。落下事故は3日、午後6時20分ごろ。降下訓練中の米兵1人のパラシュートが開かず、切り離して農地に落下しました。米兵は予備のパラシュートで施設区域内に着地しました。

横田基地で、パラシュートの一部が羽村第三中学校に落下したのは、4月10日でした。

テキサス州の小学校の屋根に米軍ヘリ 弾薬箱を落下 一時停電も

米陸軍のヘリコプターUH-60ブラックホークが5月17日、米南部テキサス州エルパソ市のパークランド小学校の校舎の屋根に、弾薬箱を落下させました。負傷者はいません。弾薬箱の落下で、校舎の屋根に穴が空き、教室部分も破損したほか、一時的な停電も発生。

投下された弾薬箱は地元警察と軍が回収。調査では、乗員の操作ミス、あるいは技術システムの故障等によるものかなど事故原因を特定し、飛行経路などの検証も実施されるそうです。

米軍は、沖縄・宜野湾市で、CH-53Eヘリが普天間第2小学校に窓枠を落下させ、東京・羽村市では羽村第三中学校にパラシュートの一部を落下させたりしています。



空自のF-15戦闘機が米軍嘉手納基地に緊急着陸 油圧系統に不具合

5月23日午前8時40分ごろ、飛行訓練をしていた航空自衛隊那覇基地所属のF-15戦闘機が米空軍嘉手納基地に緊急着陸しました。空自によると、油圧系統に不具合が発生したそうです。

那覇基地のF-15は、1月にも訓練中に油圧系統の不具合で、嘉手納基地に緊急着陸しています。